地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院 第 2 期中期目標（修正案）の考え方

項目	意見の内容	修正案	原案	備考
前文 (P1)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者減は人口減も関与している。 ・”かかりつけ医機能”に関する記載がない。 	<p>(前略)</p> <p>一方、常勤内科医の退職の影響や入院ニーズの低下などで入院患者数が伸び悩み、課題も残った。</p> <p>第 2 期中期目標の策定に当たっては、救急医療をはじめ町民が求める『<u>かかりつけ医</u>』としての機能を充実させるとともに、質の高い医療の実現と患者サービスの向上を図り、あわせて経営の健全化に積極的に取り組み、もって町民の健康の保持増進に寄与することを求める。</p> <p>(後略)</p>	<p>(前略)</p> <p>一方、常勤内科医の退職の影響や入院ニーズの低下などで入院患者数が伸び悩み、課題も残った。</p> <p>第 2 期中期目標の策定に当たっては、救急医療をはじめ町民が求める<u>地域に根ざした医療</u>を引き続き提供するとともに、質の高い医療の実現と患者サービスの向上を図り、あわせて経営の健全化に積極的に取り組み、もって町民の健康の保持増進に寄与することを求める。</p> <p>(後略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院医療に対する評価を踏まえた課題を示したものです。 ・町の今後の方向性として、かかりつけ医機能の意見を追加したものです。
第 2-1 (2) (P2)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院 4 8 床は常に見直し、適切な減床、転換（地域包括ケア病床、介護医療院）を検討すべき。 ・人工透析体制の構築はとても難しいですので、”目指す”くらいの表現がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修正なし 	<p>(2) 地域医療の維持</p> <p>周辺に民間病院がなく、町立病院が近隣自治体を含めた地域医療の中心的役割を担っていることから、地域の医療ニーズに合致する診療科の充実を目指すとともに、現在の入院 4 8 床を基本としながらも、適正な病床数を確保すること。</p> <p>病床区分については、救急対応や長期療養患者に必要な病床を確保しつつ、患者の実態に応じた見直しを行うこと。</p> <p>中期目標の期間中に人工透析の治療体制を構築すること。</p> <p>(後略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病床数は 4 8 床を基本としながら適正な病床数を確保するものです。また、病床区分については、地域医療ニーズや患者の実態に応じて見直ししていくものです。 ・人工透析については、以前から透析治療をしている町民から強い要望もあり、政策として実施したいとするものです。
第 2-1 (6) (P3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19 等の感染症対応についても目指すべき。 	<p>(6) 災害対応力の充実強化</p> <p>(前略)</p> <p>また、<u>新型インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症などの流行等</u>、公衆衛生上重大な健康被害が発生し、または発生のおそれのある場合は、町や関係機関と連携し、迅速かつ適切な対応を取るとともに、状況に応じ診療所との連携を図り、町民の医療の確保に努めること。</p>	<p>(6) 災害対応力の充実強化</p> <p>(前略)</p> <p>また、<u>新型インフルエンザ</u> _____ の流行等、公衆衛生上重大な健康被害が発生し、または発生のおそれのある場合は、町や関係機関と連携し、迅速かつ適切な対応を取るとともに、状況に応じ診療所との連携を図り、町民の医療の確保に努めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を追加したものです。

項目	意見の内容	修正案	原案	備考
第2-1(7) (P3)	・介護医療院は必要です。	・修正なし	(7) 地域包括ケアシステムの推進 医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、医療機関間の連携や、介護、保健、福祉との連携、多職種協働を強化し、地域包括ケアシステムの中心的役割を担うこと。 また、近隣の自治体との連携を強化し、医療資源の効率的かつ効果的な体制構築に取り組むこと。	・第2期中期目標には掲載していませんが、今後の検討課題であります。
第2-2(5) (P5)	・医療は断じてサービス業ではありません。	(5) 職員の待遇向上 全ての職員に対し_____ _____待遇の向上に努めるため、連携医療機関等における研修機会も積極的に活用し、全職員が年2回以上の待遇研修を受講すること。 また、患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱の設置に加え、患者満足度調査の結果も活用し、一層のサービス向上と業務改善の取組を進めること。 (令和3年度実績：待遇研修未実施)	(5) 職員の待遇向上 全ての職員に対し <u>医療はサービス業であるとの意識を浸透させ</u> 、待遇の向上に努めるため、連携医療機関等における研修機会も積極的に活用し、全職員が年2回以上の待遇研修を受講すること。 また、患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱の設置に加え、患者満足度調査の結果も活用し、一層のサービス向上と業務改善の取組を進めること。 (令和3年度実績：待遇研修未実施)	・町民に信頼される病院をつくりあげるため、病院全体の意識や職員の心構えとして「医療はサービス業であるとの意識を浸透させ」と表現しました。ご指摘のとおり「医療はサービス業である」と誤解を招くことが考えられますので、この部分は削除しました。
その他	・全体として人口減に伴う減少、病床機能転換、経費削減が具体的に見えません。北海道医療計画上の整合性をもたせるべきでしょう。			・中期目標は、目標期間において達成すべき業務運営に関する目標を、町が定め病院に指示するものです。 中期目標達成のため、具体的な取組については、病院が中期計画において定めるものです。